

図書館の本棚から(一般)

2019年9・10月号 亀山市立図書

テーマ：ひとり旅

●〔東海発!〕小さなひとり旅

日帰りもしくは1泊2日の女性ひとり旅で気軽に訪れることができる、名古屋から片道3時間以内の全15エリアの見どころやグルメ、宿などの情報を紹介。

●ひとりたび2年生 たかぎなおこ

列車に船に飛行機に乗って、北は北海道から南は沖縄まで、さらにいろいろなひとりたびをしてみました。そんな2年生のひとりたびっぷり、どうぞごらんくださいませ!

●海外女子ひとり旅★パーフェクトガイド

ひとり旅デビューでも安心して行ける9都市を、ひとりごはんスポットとともに徹底ガイド。ほか、旅の準備やテクニック、トラブル回避の知識、ひとり旅女子100人のリアルアンケートなども収録。

●美しいものを見に行くツアーひとり参加 益田ミリ

語学力が乏しくても、ツアーに申し込めばどこにだって出かけられる! 北欧のオーロラ、ドイツのクリスマスマーケットなど、40代でひとりで参加した5つのツアーを、イラストや写真とともに紹介します。

●できるだけがんばらないひとりたび 田村美葉

「できるだけがんばらないこと」をテーマに、日常を暮らすような旅をしてみませんか? 「好きなものを丁寧に見る」「いつものパターンを楽しむ」など、自分なりの旅を楽しむ方法を伝授する。

その他

●こうして誰もいなくなった 有栖川有栖

孤島に招かれた10人の男女、死刑宣告から始まる連続殺人。有栖川有栖があのか作「そして誰もいなくなった」を再解釈し、大胆かつ驚きに満ちたミステリに仕上げた表題作などを収録した、作家デビュー30周年を飾る作品集。

●ひかる風 中島久枝

西国の大名・山野辺藩から、牡丹堂に菓子の注文が舞い込んだ。晴れがましくもなにやら落ち着かない小萩をはじめとする見世の面々。そんな折、もともと山野辺藩の御用を務めていた老舗の伊勢松坂が何者かに乗っ取られ…。

●ポーの一族 上・下 萩尾望都

血とバラのエッセンス、そして愛する人間をひそかに仲間に加えながら、彼らは永遠の時を生きる。その一族にエドガーとメリーベルという兄妹がいた。19世紀のある日、2人はアランという名の少年に出会う…。時を超えて語り継がれるバンパネラたちの美しき伝説。

●佐藤ジュンコのおなか福福日記 佐藤ジュンコ

野菜どっさりひとり鍋、駅そばの小さな立ち飲み屋…。仙台在住のイラストレーターが描く、お腹いっぱい、胸いっぱいのコミックエッセイ。

